



大部っ子

大部小だより

令和5年3月

「やさしく かしこく たくましく」-自ら学び、ともに生きる児童の育成-

文責：学校長



1年を振り返って ～感謝とともに～

吉岡 優

校庭の桜を見るとわずかですが、つぼみが芽を吹きかけています。近くの山の梅も咲き始めました。確実に春の到来を感じます。令和4年度が終わりに近づき、3学期も今日を含めて残り17日となりました。本校では、各学級で今年度の取り組みを振り返り、学習や生活の総まとめを行います。児童一人一人が自信をもって6年生は中学校へ、5年生以下の子どもたちは次の学年に進級できるよう、残りの日々を充実させていきたいと考えています。



保護者や地域の皆様方には教育活動において、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。今年度も、2019年から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、多くの行事に制限があったことも確かです。市内の感染状況、国や市の動向なども把握しながら様々な工夫を行い、ここまで大切な学習をどのように進めたらよいか試行錯誤を続けてきたところです。

報道によると新型コロナウイルスの感染症法上の分類を大型連休明けの5月8日、「5類に引き下げる」と政府が表明しました。あわせて、「4月1日以降、学校教育活動の実施にあたっては、マスクの着用を求めないことを基本とする」等とされたところです。顔の見える・表情が分かり合える学校が戻ってくることを期待しております。しかしながら、分類を「5類」に引き下げたからとは言え、ウイルス自体が変化するわけではないので、実情に即した感染症対策は継続が必要と考えています。ご理解とご協力をお願いします。

新児童会がスタートしました

児童会役員選挙が2月7日に、児童会引継ぎ集会在2月17日に行われました。「児童会」は子どもたち自身が自分たちの手でよりよい学校にしていく取り組みの中心となります。令和5年度児童会の第1歩が踏み出されたのです。引継ぎ集会では6年生の思いや願いがしっかりと5年生にバトンタッチされました。

2月の大部小学校



2月もたくさんの行事がありました。2月は1年で一番日数の少ない月ですが、子どもたちは変わらず、たくさんの学びと体験をすることができました。大きく2つの分類ができます。

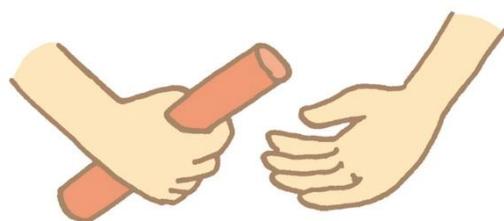
1つは1年間のまとめの活動です。1年間積み上げた学びの姿を保護者のみなさんに見ていただく3日の学習参観日。クラスの団結を再確認するための14～16日の大縄記録会。算盤の上達とクラスの協力を確認するための16日のパチパチ集会、1年間を振り返った

24日の思い出集会、などがありました。

もう1つは来年度への準備の活動です。6年生が中学校進学への準備としての2日の中学校一日入学。新児童会への意気込みを感じた7日の児童会選挙立会演説会。続いて、6年生から5年生へ「心」が引き継がれた17日の児童会引継集会。10日には新1年生の保護者への入学説明会。などがありました。春の足音が聞こえる昨今、子どもたちもまた確実に1年間の総括と次年度の準備を始めています。



今回で令和4年度「大部っ子」は最終号です



3月はリレーに例えると「バトンゾーン」だと言われています。一人一人が一学年上の自分にバトンを渡す月です。また、学校全体の役割でいえば、6年生が5年生に、5年生は4年生に……2年生は1年生に、バトンを渡す月でもあります。

特に、小学校では6年生が要となります。6年生はこれまで大部小のリーダーの役割を果たしてきてくれました。そして、5年生はこのバトンを引き継ぎます。卒業式当日、大部小学校での130回目のバトンパスが見事に成功することを願っています。

来年度も引き続き、学校だより「大部っ子」は[大部小だより \(デジタル版\)](#)とともに、学校や子どもたちの様子や本校の思いや願いをお届けする予定です。お楽しみにお待ちください。1年間、本校教育活動へのご理解とご支援、本当に感謝しております。